

自治会活動に関する報告会レポート

柳井地区自治会長協議会

〇はじめに

2025年8月1日に開催された柳井地区自治会長協議会総会にて、自治会が抱える様々な問題について、4つのテーマから6グループに分かれて活発な議論が行われました。本レポートは、その議論の内容を「問題」・「原因」・「対策」の3つの視点から整理し、今後の自治会活動の活性化に向けた課題と解決策を市民の皆様と共有するために作成しました。短い時間ではありましたが、多岐にわたる貴重なご意見が出されましたので、ご紹介します。

〇各グループ発表内容のまとめ（4つの主要テーマ別）

会議では、各グループから以下の4つの主要テーマに関する問題提起、原因分析、対策案が発表されました。

★テーマ1 「自治会員の高齢化に伴う活動への影響」

1 問題点・原因

- ・ 交流の機会が減少、行事参加も減少。
- ・ 行事開催が困難。
- ・ 定年延長により、これまで自治会活動に参加していた世代が参加できなくなった。
- ・ 若い世代の流出、核家族化の進展、世代間の考え方の相違。
- ・ 自治会内の希薄化から隣近所の把握ができない。

2 対策案

- ・ 女性の参画。
- ・ 会合を増やす。（話し合える場づくり）

★テーマ2 「自治会長・役員の担い手不足と固定化」

1 問題点・原因

- ・ 役員が固定化され交代が進まない。
- ・ 役員の高齢化。
- ・ 働く世代は活動に参加できない。
- ・ アパート居住が多く、活動の関心度が低い。
- ・ 自治会活動への理解不足、無関心。
- ・ 働く世代は、地域との繋がりが不足。
- ・ 名誉職であった時代からの変化、人材不足。

2 対策案

- ・ 役員手当の増額。

- ・ 役員の輪番制。
- ・ 役員の業務削減、仕組みを効率化。

★テーマ3 「人口減少、子どもの減少、空き家問題」

1 問題点・原因

- ・ 人口増加は望めない。
- ・ 早期結婚の促進、子育ての充実。
- ・ 独居高齢者が施設へ入所、Uターンも見込めない。
- ・ 空き家問題と駐車場の確保。
- ・ 若者は中古物件を好まない傾向あり。
- ・ アパート住民の加入は、不動産業者が一括加入するケースが多い。

2 対策案

- ・ リフォームによる空き家再生。

★テーマ4 「地域の繋がり希薄化」

1 問題点・原因

- ・ 子ども会が消滅、若い世代との繋がりが減少。
- ・ 隣近所との付き合いが減少、出会いの機会が減少。
- ・ アパート住民と地元住民との繋がりがなし。
- ・ 行事などの参加協力が得にくい。
- ・ 家族葬の増加。

2 対策案

- ・ 会合を増やす。（話し合える場づくり）

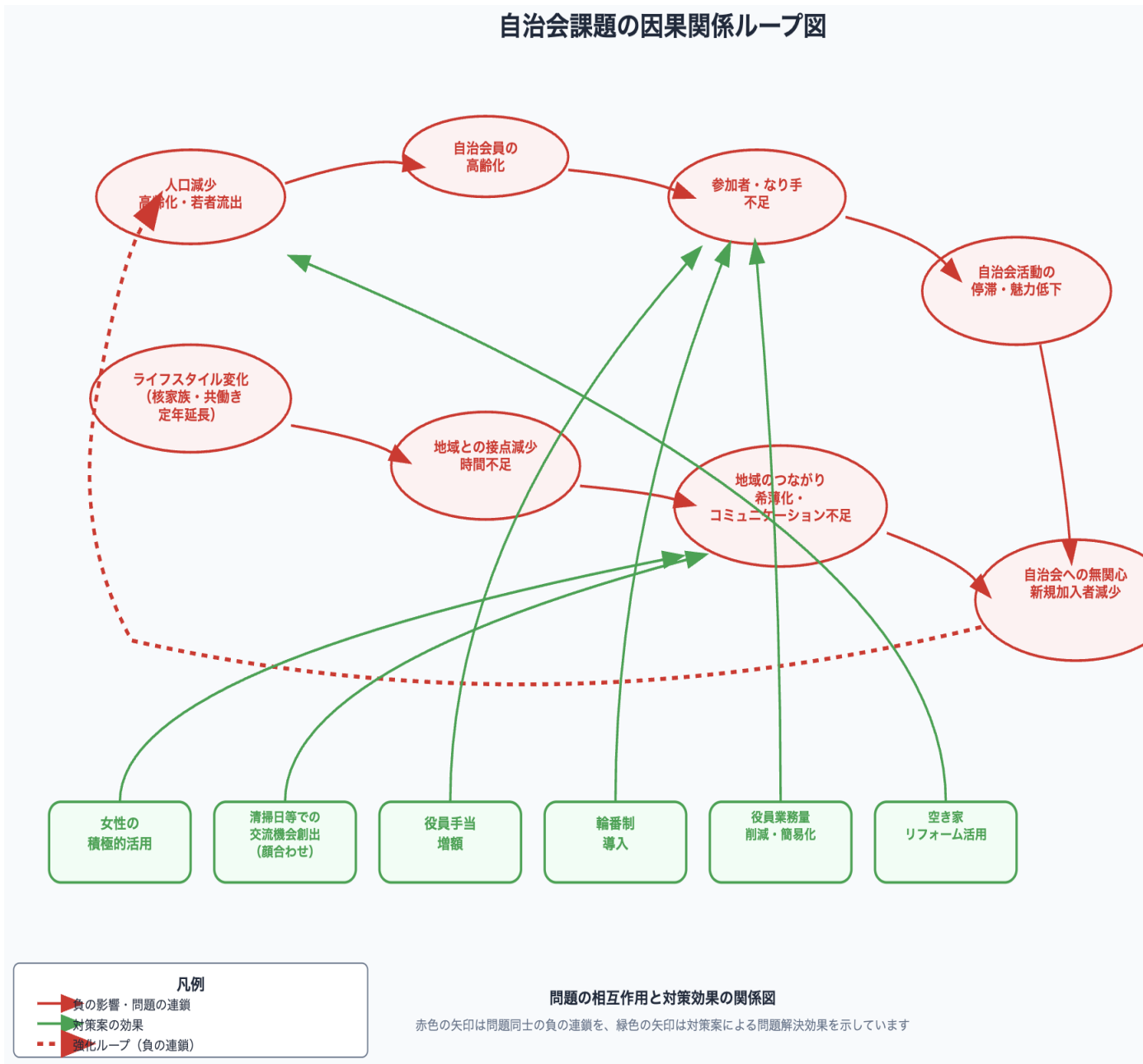
○全体を通して共通するテーマ

上記の各グループの発表を通じて、柳井市内自治会が共通して抱える、以下のような本質的な課題が浮かび上がりました。

- ・ 高齢化の進行とそれに伴う地域力の低下
- ・ 若い世代の流出とそれに伴う次世代後継者の育成が課題
- ・ 地域コミュニティ内でのコミュニケーション不足と関係性の希薄化
- ・ 自治会活動への参加意欲の低下、及び自治会役員のなり手不足
- ・ 核家族化、共働き、定年延長などのライフスタイルの変化が地域活動に与える影響
- ・ 空き家増加とアパートなどの居住形態の変化が自治会加入率に与える影響

問題と本質的な問題、対策案の相関図（因果関係ループ図）

自治会課題の因果関係ループ図



自治会が抱える課題の因果関係ループ図は、以下の要素を視覚的に表現しています。

図の構成要素

赤色の楕円（問題要素）

- ・人口減少・高齢化・若者流出
- ・自治会員の高齢化
- ・参加者・なり手不足
- ・自治会活動の停滞・魅力低下
- ・ライフスタイルの変化
- ・地域との接点減少・時間不足
- ・地域のつながり希薄化、コミュニケーション不足
- ・自治会への無関心、新規加入者減少

緑色の長方形（対策案）

- ・女性の積極的活用
- ・輪番制の導入
- ・清掃日などでの交流機会の創出
- ・役員業務削減・簡易化
- ・役員手当の増額
- ・空き家のリフォーム活用

ループ図の特徴

1. 負の連鎖（赤い矢印）：核問題が相互に影響し合っって悪循環を形成
2. 強化ループ（破線の赤い矢印）：最終的に元の問題を更に悪化させる負のスパイラル
3. 対策効果（緑の矢印）：各対策案がどの問題に対して効果を発揮するかを示す

この図により、単独では解決困難な複雑な問題構造と、戦略的な対策配置の重要性が理解できます。複数の対策を組み合わせることで、負の連鎖を断ち切り、地域コミュニティの活性化に繋げることができることを示しています。

自治会が抱える課題は単独で存在するのではなく、相互に影響し合い、複雑な負の連鎖を形成しています。

・「人口減少・高齢化・若者流出」は、「自治会員の高齢化」や「自治会活動への参加・なり手不足」を引き起こし、結果として「自治会活動の停滞や魅力の低下」に繋がります。

・「核家族化・共稼ぎ・定年延長」といった「ライフスタイルの変化」は、「地域との接点の減少」や「地域活動に費やせる時間の不足」を生み出し、これらが「地域の繋がり希薄化」や「コミュニケーション不足」を加速させます。

・この「地域の繋がり希薄化・コミュニケーション不足」と、「自治会活動の停滞・魅力の低下」は相まって、「自治会活動への無関心」や「新規加入者の減少」を招き、最終的に「さらなる高齢化や人口減少の影響増大」へと繋がる、負のループを形成しています。

これらの問題の連鎖を断ち切り、地域コミュニティを活性化するためには、以下の対策案が重要な役割を果たします。

「高齢化・参加者減少への対策」

女性の積極的な活用や、年に一度の清掃日などを活用した顔を合わせる機会の創出は、地域内の交流を活性化し、参加者を増やす第一歩となります。

「なり手不足・役員の固定化への対策」

役員手当の増額、輪番制の導入、そして役員の業務量削減と簡易化は、役員の負担を軽減し、より多くの住民が役職に就きやすい環境を整えることで、自治会機能の維持強化に繋がります。

「人口減少・空き家問題への対策」

空き家のリフォーム活用は、新しい住民を呼び込む可能性を秘めており、地域の活性化に貢献します。

今後の展望と皆様へのお願い

今回の会議で明らかになった課題は、柳井市全体の地域コミュニティの未来に関わる重要なものです。これらの問題解決に向けては、自治会だけでなく、住民一人ひとりの理解と協力が不可欠です。

このレポートを参考に、皆様の自治会、そして地域全体で、これらの問題について話し合い、具体的な行動を起こすきっかけとしていただければ幸いです。